



大きくなって、また会いましょう

美山漁業協同組合（上林實組合長）は、今年も美山川に稚アユの放流を行いました。今年はこの日を皮切りに10回にわたり、あわせて6ト（およそ100万匹）が放流される予定です。

毎年、多くの釣り人でにぎわう美山川。今年の友釣りの解禁日は6月18日ということで、順調に成育してくれるようにと、漁協役員らは元気に泳いでいく稚魚を見守っていました。

（4 / 26 鮎の稚魚放流・美山町）

「美山川へ鮎の稚魚を放流」

「いざといざといざに備えて」

摩気小学校（井尻常夫校長、82人）で全校児童を対象に、校舎の玄関付近からの出火を想定した避難訓練が行われました。1年生にとっては初めての避難訓練でしたが、子どもたちは口にハンカチをあてながら、落ち着いて迅速に避難することができました。

いつ起こるかかわからない災害に対して防災意識を高め、いろんなことを学んだ避難訓練でした。



慌てないで落ち着いて避難できました

（4 / 19 摩気小学校避難訓練・園部町）

「優しく透き通る音色にうっとり」



さんぽ、早春譜など20曲が奏でられました

南丹市日吉町の遊youひよしエントランスホールを利用した初の試みとして「春さくらオカリナコンサート」が行われました。オカリナグループ“らべんだーず”代表者の小出京子さん（南丹市日吉町在住）が「南丹市から何か明るい話題を発信したい」と企画され、50人余りの観客が来場しました。途中、オカリナ体験と一緒に歌を歌う場面もあり、穏やかな午後のひとときが流れました。

（4 / 15 オカリナコンサート・日吉町）

「世界にひとつしかない手作り絵本」

神奈川県逗子市の市政50周年を記念して行われた「手作り絵本コンクール」で、南丹市八木町在住の都築菊子さん（都築さん）が作られた「くるくるちょんぱっ」が応募総数194点の中からみごと優秀賞に選ばれました。

「文句なく面白い。思わず笑っちゃう」という講評のとおり、何度でも読めてユーモアのある作品ということです。

都築さんは「息子が喜ぶので絵本を作り始めました。これからもどんどん作りたいと思います」と受賞の喜びを話されていました。



「これからもどんどん作っていきます」

（手作り絵本コンクール・神奈川県逗子市）